

平成 29 年度新入職員歓迎式理事長訓示(平成 29 年 4 月 3 日)

- 皆さん、こんにちは。理事長の児玉です。

- 本日、夢と希望に満ちた前途有望な皆さんを、原子力機構の新しい仲間としてお迎えすることができたことは、私たちにとって大変大きな喜びです。役職員一同、お祝いを申し上げますと同時に、心より歓迎いたします。新入職員歓迎式を始めるにあたり、皆さんへの期待込めて一言申し上げます。

- 今日、皆さんは、それぞれが喜びと不安の入り混じった気持ちで、ここにおられることと推察しますが、原子力機構のような知の創造、科学技術の探求を行う研究開発機関にとっては、皆さんのような若い力の絶えざる注入と活性化が欠かせません。ですから、皆さんが配属される職場においては、計り知れない可能性を秘めた新戦力の到着を、大きな期待とともに、首を長くして待っているところです。

- そのような研究開発機関である我々のミッションは、「原子力の未来を切り拓き、人類社会の福祉に貢献する」ことです。これは公的研究開発機関として、「エネルギーの安定確保並びに地球環境問題解決や、新たな科学技術や産業の創出を目指し、その成果を社会へ普及することを通じて、人類社会の福祉と国民生活の水準向上に貢献する」ことに、我々の存在意義があるということを示したものです。

- 具体的に、現在の取組むべき重点分野を挙げると、
 - 東京電力ホールディングス福島第一原子力発電所事故への対応、
 - 原子力の安全性向上のための研究開発、
 - 核燃料サイクルの研究開発、
 - 放射性廃棄物処理・処分技術開発、

としています。

また、これらの共通基盤にもなる、

-基礎・基盤の研究開発、

も欠かせません。原子力機構は、我が国唯一の原子力に関する総合研究開発機関として、これらに関する課題解決に責務を負っています。

○この使命を果たすため、全職員が共有すべき信条として、「高い志 豊かな発想 強い意志」という3つのスローガンを掲げています。皆さん一人ひとりが、夢や希望、やる気を持ってこの高い志、豊かな発想、強い意志で、事に臨めば、必ずやその使命は、達成できるものと確信しています。

○その際、原子力機構の一員となった皆さんに、ここで、2つのことをお願いしたいと思います。

○一つ目は、「実行すること」です。どんなすばらしい着想や計画であっても、実行して初めて、その日の目を見ます。そして、具体的に国民の負託にも応えることができます。そればかりではなく、その実行を通して苦労したこと、学んだことが、一段と皆さん自身の成長を促すことになるのは間違いありません。失敗を恐れずに是非、なんとしてでも実行に移していくという心構えを持って職務に励んでください。

○二つ目は、「世界を相手にすること」です。トヨタグループの創始者である豊田佐吉が述べた言葉に「障子を開けてみよ、外は広いぞ」というものがあります。小さな殻に閉じこもらずに、もっと外に目を向けると新しい世界が待ち受けているということです。現在、日本が世界に伍して進んでいけるのも、このような先人たちの意気込みがあったからこそです。皆さんも我が国にとどまらず、世界を相手にしたときに、自分自身が、あるいは自分の仕事が、どう評価されるだろうか、ということのを常に意識しながらいろいろなチャレンジに取り組んでください。

- 幸い、原子力機構には、皆さんにとって非常にやりがいのあるテーマ・業務が数多くあります。「実行」と「世界を相手に」をキーワードに、皆さんの新しい発想、エネルギーにより、これらが飛躍的に進むことを期待しています。

- 最後になりますが、皆さんは、原子力機構の新入職員として、内外から大きな期待と注目を浴びています。このことを認識し、常に良識ある行動に心掛けて下さい。その上で、健康に十分注意を払いながら、皆さんの持てる力を存分に発揮し、職場にフレッシュな風を吹き込んで下さい。

- それでは、皆さんのこれからのご活躍を心から祈念して、私からの言葉とさせていただきます。

以 上